

# 委員会調査(研修)報告書

NO.

令和 5年 8月 30日

胎内市議会議長

小野 徳重 様

(報告者) 総務文教常任委員会  
委員長 坂上 隆夫

総務文教常任委員会閉会中所管事務調査 について、  
議会会議規則第110条により、下記のとおり報告します。

調査・研修 日 時	自 令和 5年 8月 24日 至 令和 5年 8月 24日 泊 日 ( 1日間)	調査・研修 場 所	中条小学校 ・ 仮設校舎 ・ 北校舎 ・ 体育館
調査・研修 事 項	中条小学校改築事業に関わる説明会 ・ 工事概要の説明並びに仮設校舎見学及び既存校舎への接続確認		
調査・研修 出席者(参加者)	坂上隆夫 笥智也 丸山孝博 薄田智 天木義人 八幡元弘 森本将司 増子達也		
相手方(対応者)	学校教育課：丹後課長 施設係：宮野係長 渡辺主任 中条小学校：松原校長 渡辺教務主任		

## 調査の結果または概要

中条小学校改築に伴い仮設校舎が建設されたことにより、児童の利用開始前に、仮設校舎にて改築に伴う概要、工事工程計画、新規校舎計画等の説明を受け、質疑応答を行った。その後仮設校舎内を、説明を受けながら見学し、既存校舎や既存体育館との接続など安全にかかわる部分の確認を行った。

質疑応答では、「外構工事に関して、既存植栽の件や送迎バス・送迎車の駐車場問題」「少子化対策とその未来設計について」、「設計コンペやその後の情報公開の状況について」など、街場におけるコミュニティ施設となりうる新規校舎に対し、様々な角度からの質問がありその回答を得た。

## 調査の所見・感想

今夏の猛暑による異常な暑さへの対応は必須であり、暑い日に見学に赴いたことで、プレハブの仮設校舎内の暑さを先ず知ることができた。今後の冷暖房設備の適宜使用は児童並びに教職員の安全に影響することと考えられるので、現場判断に期待する。

質疑応答について、説明時間よりも大幅に時間を用いて、様々な意見や質問が相次いだことは、少子化が進むなかでの小学校建設に対し、議員各々が持つ個々のビジョンが反映されていたものが多かった。

新校舎運用開始までの2年間の対応ばかりでなく、その後の地域コミュニティ拠点となる建設工事であると捉え、今後も地域に向けた情報の発信や共有が必要だと強く感じた。